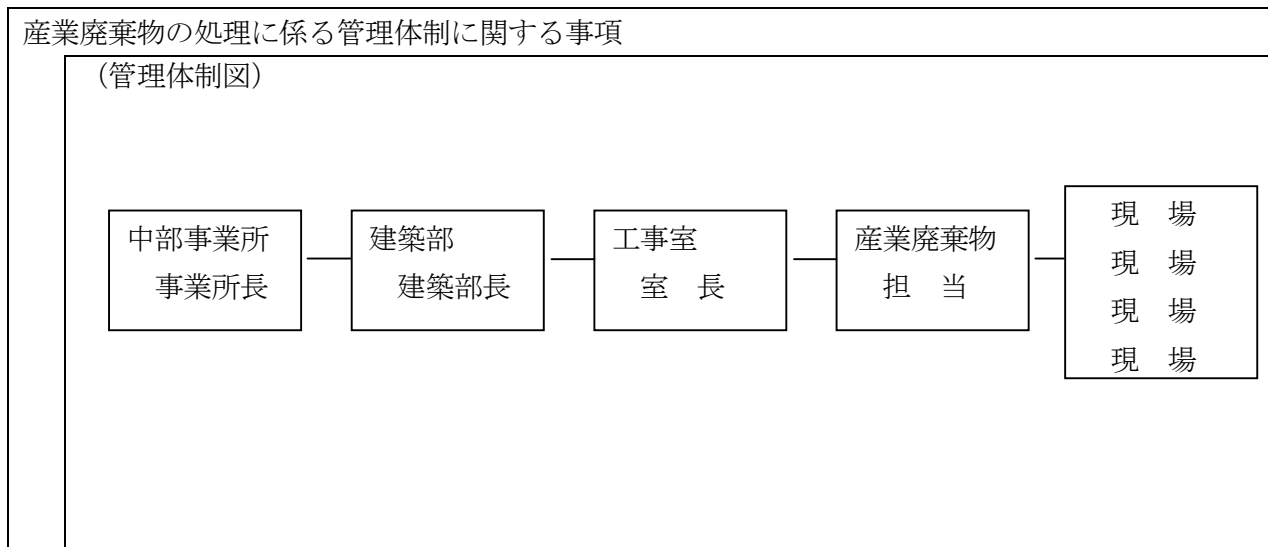


様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
平成24年 6月30日	
愛知県知事 殿	
提出者 住 所 名古屋市中川区高畑五丁目146番地 氏 名 大成建設ハウジング(株)中部事業所 事業所長 佐藤 文明 電話番号 052-355-9251	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	大成建設ハウジング(株)中部事業所
事業場の所在地	名古屋市中川区高畑五丁目146番地
計画期間	平成24年4月1日から平成25年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06 総合工事業
② 事業の規模	完成工事高 3,761百万円
③ 従業員数	85人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	排出量	別紙のとおり	別紙のとおり
	(これまでに実施した取組) ・ 工事関係者への排出抑制に関する意識の啓発 ・ 簡易梱包化の促進		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	排出量	別紙のとおり	別紙のとおり
	(今後実施する予定の取組) ・ 3Rの促進及び啓蒙 ・ 余剰材が発生しない発注管理		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類：木くず、コンクリートがら、廃プラ等 取組：分別状況の確認と指導による推進、発注材の過剰納入の防止
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類：木くず、コンクリートがら、廃プラ等 取組：分別徹底による混廃の排出抑制、RF/AS等少量排出時分別

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	全処理委託量	別紙のとおり	別紙のとおり
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙のとおり	別紙のとおり
	再生利用業者への処理委託量	別紙のとおり	別紙のとおり
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙のとおり	別紙のとおり
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙のとおり	別紙のとおり
	(これまでに実施した取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産廃業者選定における優良業者の採用 ・ 処分場施設見学による適正処理の確認 ・ 電子マニフェスト導入による集中管理の実施 		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	全処理委託量	別紙のとおり	別紙のとおり
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙のとおり	別紙のとおり
	再生利用業者への 処理委託量	別紙のとおり	別紙のとおり
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙のとおり	別紙のとおり
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙のとおり	別紙のとおり
	(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> ・ 産業廃棄物業者を含む現場関係者の教育 ・ 委託業者の見直し ・ 電子マニフェストの完全実施 (100%) ・ 処分場の施設実地確認 		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

◆当事業場において現に行っている事業に関する事項

④産業廃棄物の一連の処理の工程

事業場内	許可業者への委託による処理			2次マニフェスト
汚泥 発生直後搬出 →	収集運搬 →	脱水・調質改良	石灰改良土 調質改良土	
アスファルト・コンクリートがら 分別排出 →	収集運搬 →	破碎	再生碎石	
木くず 分別排出 →	収集運搬 →	破碎	燃料チップ 肥料 他	
金属くず 分別排出 →	収集運搬 →	選別		
廃石膏ボード 分別排出 →	収集運搬 →	破碎		
紙くず・ダンボール 場内集積保管 →	収集運搬 →	破碎・圧縮梱包		専門 リサイ クル施 設
廃プラスチック類 場内集積保管 →	収集運搬 →	破碎・圧縮梱包		
繊維くず 場内集積保管 →	収集運搬 →	破碎	肥料	リサイクル不可 最終処分（埋 立）
ガラスくず陶磁器くず 場内集積保管 →	収集運搬 →	破碎	路盤材	
その他がれき類 場内集積保管 →	収集運搬 →	破碎		
混廃(安定型のみ) 場内集積保管 →	収集運搬 →	工場内分別作業 → 破碎・圧縮	各品目へ	安定型最終処分場 埋立
混廃(管理型含む) 場内集積保管 →	委託収集運搬 →	工場内分別作業 → 破碎・圧縮	各品目へ	管理型最終処分場 埋立
石綿含有産廃(レベル3) 場内分別保管 →	委託収集運搬 →			最終処分場埋立

◆産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

単位:t

産業廃棄物の種類	①現状	②計画
	実績	目標
汚泥	0.0	0
廃プラスチック類	46.3	46
紙くず	74.1	74
木くず	301.6	301
繊維くず	2.7	2
金属くず	6.4	6
ガラスくず及び陶磁器くず	28.7	28
廃石膏ボード	20.8	20
その他がれき類	88.8	88
コンクリート塊	618.1	618
アスファルト	0.3	1
混廃(安定型のみ)	132.4	132
混廃(管理型含む)	135.3	135
石綿含有産廃	2.9	2
	1,458.4	1,453

◆産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(平成23年度)実績】

①現状

(単位:t)

廃棄物の種類	産業廃棄物発生量	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
汚泥	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
廃プラスチック類	46.3	46.3	0.0	46.3	0.0	0.0
紙くず	74.1	74.1	0.0	74.1	0.0	0.0
木くず	301.6	301.6	0.0	301.6	0.0	0.0
繊維くず	2.7	2.7	0.0	2.7	0.0	0.0
金属くず	6.4	6.4	0.0	6.4	0.0	0.0
ガラスくず及び陶磁器くず	28.7	28.7	0.0	28.7	0.0	0.0
廃石膏ボード	20.8	20.8	0.0	20.8	0.0	0.0
その他がれき類	88.8	88.8	0.0	88.8	0.0	0.0
コンクリート塊	618.1	618.1	0.0	618.1	0.0	0.0
アスファルト	0.3	0.3	0.0	0.3	0.0	0.0
混廃(安定型のみ)	132.4	132.4	0.0	132.4	0.0	0.0
混廃(管理型含む)	135.3	135.3	0.0	135.3	0.0	0.0
石綿含有産廃	2.9	2.9	0.0	2.9	0.0	0.0
合計	1,458.4	1,458.4	0	1,458.4	0	0

◆産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【平成24年度目標】内訳

②計画

(単位:t)

廃棄物の種類	産業廃棄物発生量	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
汚泥	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	46	46	0	46	0	0
紙くず	74	74	0	74	0	0
木くず	301	301	0	301	0	0
繊維くず	2	2	0	2	0	0
金属くず	6	6	0	6	0	0
ガラスくず及び陶磁器くず	28	28	0	28	0	0
廃石膏ボード	20	20	0	20	0	0
その他がれき類	88	88	0	88	0	0
コンクリート塊	618	618	0	618	0	0
アスファルト	1	1	0	1	0	0
混廃(安定型のみ)	132	132	0	132	0	0
混廃(管理型含む)	135	135	0	135	0	0
石綿含有産廃	2	2	0	2	0	0
合計	1,453	1,453	0	1,453	0	0